

## AURUM<sup>®</sup>の低温(-196°C)特性

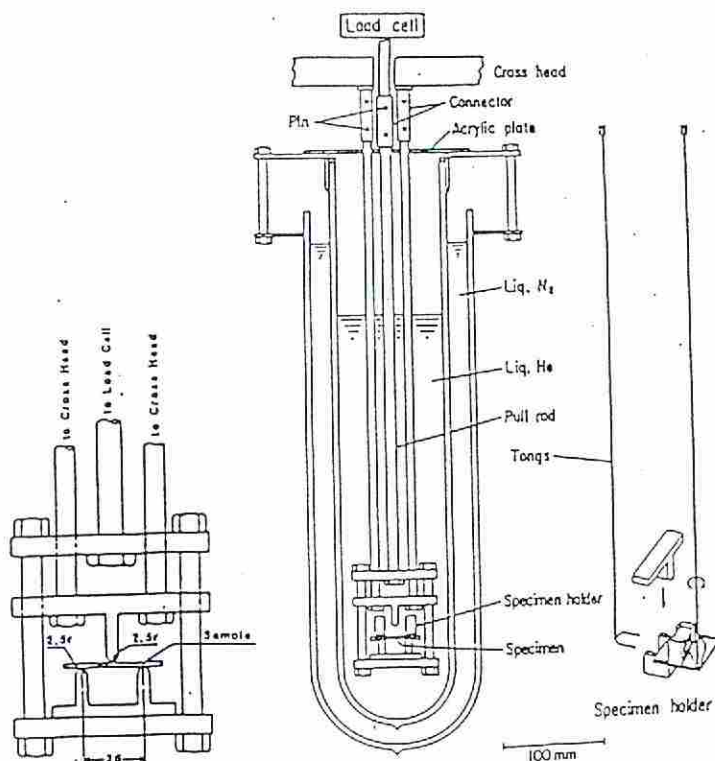
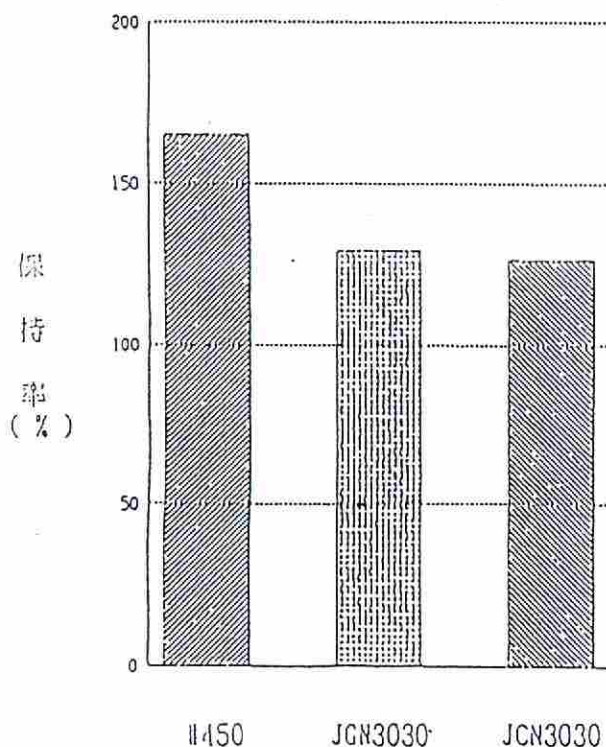
オーラム<sup>®</sup>極低温(-196°C)下での曲げ弾性率の室温(23°C)測定値と比較した保持率を以下に示します。

ニート(450)、ガラス繊維強化品(JGN3030)及び、炭素繊維強化品(JCN3030)のいずれも極低温下では高い弾性率を示します。

### 低温(-196°C)下の曲げ弾性率

室温強度と比べた保持率

オーラム<sup>®</sup>



Apparatus for flexural test

記載の内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をするものではありません

作成日 2004年6月23日

## AURUMの低温(-196 )特性

オーラム®の極低温下(-196 °C)での引張り強度の測定結果を以下に示します。

測定結果:

	測定温度 °C	引張り強度 MPa	伸び率 %
PL450C(ナチュラルペレット)	23	92.1	90
	-196	189.2	16
JCN3030(炭素繊維強化)	23	228.4	2
	-196	355.9	0.5

引張り速度: 5 mm/分

記載の内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をするものではありません。